

■タイ：タイ発電公社（EGAT）、再生可能エネルギー発電所の建設計画を公表

地元紙によると、タイ発電公社（EGAT）は先ごろ、2022年までの再生可能エネルギー発電所の建設計画を公表した。総容量は約25.9万kWで、内訳は小規模水力発電が17万kW、風力発電が6.5万kW、廃棄物発電が1.5万kWおよび太陽光発電が0.8万kWとなっている。総投資額は6億4,400万ドルと見積もられ、EGATの自己資金に加え、世界銀行と国際金融公社の融資によって賄われる予定である。なお、計画は3期に分れている。第一段階は、2012年までに10.2万kW（水力7.9万kW、風力2.0万kW、太陽光0.3万kW）、第二段階は2013年から2017年までに7.8万kW（水力5.5万kW、風力1.3万kW、廃棄物発電0.8万kW、太陽光0.2万kW）、第三段階は2018年から2022年までに7.8万kW（水力3.6万kW、風力3.2万kW、廃棄物発電0.7万kW、太陽光0.3万kW）となっている。これにより、タイは、再生可能エネルギーによる発電電力量を2022年までに20%に引き上げることを目標にしている。